

2019年度認知症地域支援推進員研修
【現任者研修】講義・演習資料②



名古屋市認知症相談支援センターの取り組み ～32人の認知症地域支援推進員と共に



やっています

名古屋市認知症相談支援センター
認知症地域支援推進員 杉本 一美

☎ (052) 919-6622

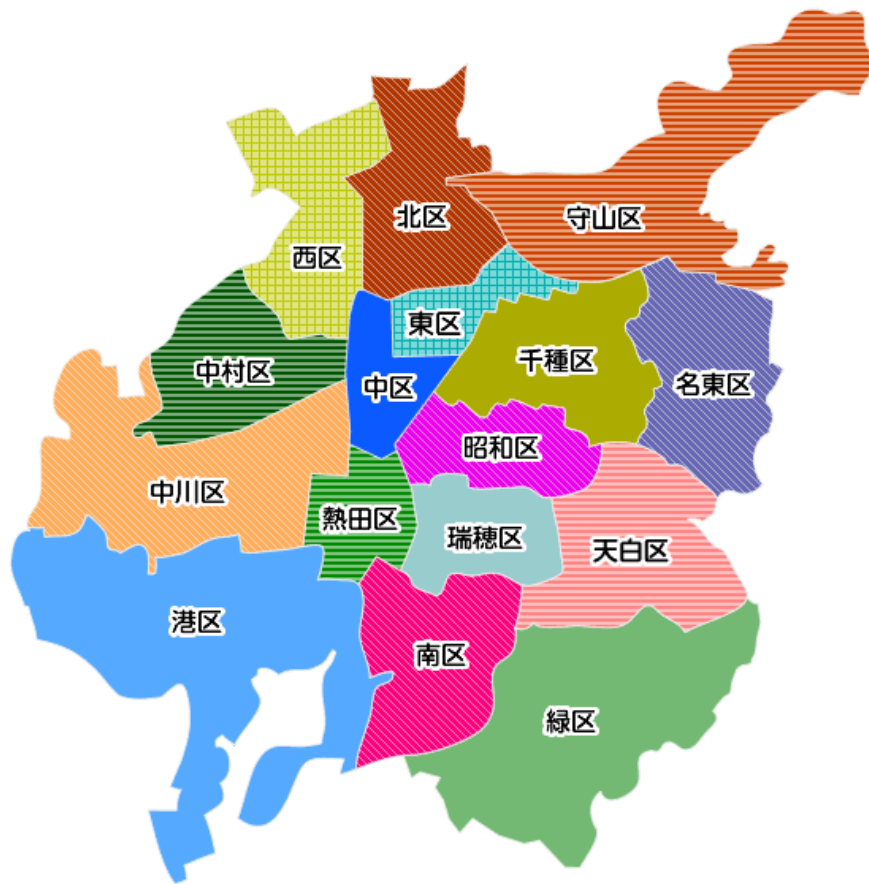
✉ n-renkei@samba.ocn.ne.jp

名古屋市のご紹介





名古屋市の概況



🏠 **人口** 232万0,361人
うち65歳以上56万8,280人

🏠 **高齢化率** 24.5%

🏠 **認知症者数** 61,471人
(平成31年3月時点)

🏠 **面積** 326.45m²

🏠 **行政区** 16区

🏠 **日常生活圏域** 16圏域

🏠 **包括数** 29カ所 (各区1～2カ所)

※名古屋市では、地域包括支援センターを「いきいき支援センター」と呼んでいます。

名古屋市の特徴

🦌 愛知県西部（尾張地方）に位置する政令指定都市。

🦌 日本三大都市圏で横浜市、大阪市に次ぐ全国第3位の人口を有する。

🦌 製造業、サービス業、先端技術、観光、貿易など各種産業が集中している。

🦌 行政区は16区

人口は約6～24万人、高齢化率は約19%～約29%

🦌 区や学区によって地域性が異なる。

- 例）・ 集合住宅が多く、人の入れ替わりが激しい地域
・ 昔からの住宅街で住民同士のつながりが強い地域
・ 新興住宅地で若い人が多い地域 など様々



名古屋市における認知症に関する取り組み



「認知症の人やその家族が安心して暮らせるまち・なごや」を目指して

目標① 認知症の人や家族にやさしいまちづくり

目標② 認知症の早期診断・早期対応の支援体制づくり

- できるだけ早期から関わり、本人と家族、友人、支援者が「私のこと」について話し合い、その内容を引き継いでいく。
- 「備え型」の支援を行うとともに、住み慣れた地域で本人のもつ力を最大限に活かし、継続性のある暮らしを支える。
- 認知症の人を支えていくうえで、その人らしい生活を支えることと心身を支えていくことの統合させたケアを提供する。
- 医療と介護等がお互いの役割や機能を理解し、目標を共有する。
- 早期から終末期までの継続的な関わりや支援を行う。

名古屋市における認知症に関する取り組み

医療・介護サービスの提供

- 認知症サポート医養成研修
- かかりつけ医認知症対応力向上研修
- 医療機関の認知症対応力向上事業

○認知症疾患医療センター

- 認知症初期集中支援チーム（29チーム）
- 若年性認知症相談支援事業
- 認知症の予防

- 介護サービス事業の充実
 - ・認知症対応型共同生活介護事業所
 - ・小規模多機能型居宅介護事業所 等
- 認知症介護研修

なごや認知症安心安全プロジェクト
(市医師会)

大学病院
総合病院
精神科病院

認知症サポート医
もの忘れ相談医

権利擁護の充実

- 成年後見あんしんセンター
- 権利擁護センター



認知症の人
とその家族

介護者支援の充実

- 認知症高齢者を介護する家族支援事業
 - ・家族教室、家族サロン
 - ・医師の専門相談
- 認知症コールセンター
- ★認知症ケアパスの作成・普及
- ★なごや認知症カフェ

地域で支える仕組みづくり

- ★認知症地域ネットワーク
(地域包括ケア推進会議認知症専門部会)
- ★認知症相談支援センター
- 認知症サポーターの養成と活動の場の充実

- ★認知症地域支援推進員
- はいかい高齢者おかえり支援事業
- 認知症普及啓発推進事業

区役所・保健センター

いきいき支援センター

民生委員

認知症の人と家族の会

NPO

社協

など

名古屋市認知症相談支援センターの体制及び支援機能

地域の身近な相談・支援機関

いきいき支援センター

認知症疾患医療センター

その他の関係機関

バックアップ・連携

認知症相談支援センター

1

地域での認知症支援体制
(ネットワーク構築・連携強化)

2

認知症の普及・啓発
(認知症コールセンター運営、
情報発信、調査研究)

3

医療と介護の連携体制

4

若年性認知症相談支援

認知症の人と家族を支援
するための中核的な機関

所長（兼務）

副所長

地域支援推進員

コールセンター管理者

若年性認知症相談支援担当

コールセンター相談員

事務

1名

3名

1名

2名

5名

1名

名古屋市認知症相談支援センターの役割

→認知症のある人やその家族を支援するための中核的な機関
(H24年1月～名古屋市から委託を受けて名古屋市社会福祉協議会が運営)

認知症カフェの推進



なごや認知症カフェを中心とした
地域の拠点づくりの支援

市域のネットワークづくり



いきいき支援 センター等の支援

認知症地域支援推進員をはじめ
認知症に関わる人や機関の活動支援

認知症地域
支援推進員
の後方支援

若年性認知症相談支援



若年性認知症本人家族交流会を中心とした
若年性認知症のある方とその家族の支援

普及啓発・調査研究

情報発信

旬の情報を発信

認知症 コールセンター

いきいき支援センターや
認知症疾患医療センター
等との連携



はい、コールセンターです

名古屋市における推進員の役割と体制



名古屋市における推進員の体制

全32名で
がんばっています！



認知症相談支援センター

3名（専任）

【役割】

- ◆ 各区の推進員の活動支援
- ◆ 推進員連絡会・研修等の開催
- ◆ 市域における関係機関とのネットワークづくり など

市全体をみて、各区の実践や推進員の活動の後方支援する

連携・サポート

各区いきいき支援センター

（包括支援センター）

1名ずつ 計29名（兼務）

【役割】

- ◆ 区の課題や実情に応じた取り組み
- ◆ 区域における関係機関とのネットワークづくり
- ◆ 区の社会資源開発 など

地域に密着して、各区で具体的な実践を行う

推進員に求められる役割

■ 認知症の方を支援する関係者の連携を図るための事業

認知症専門部会の運営

地域におけるネットワーク体制の構築

認知症疾患医療センターとの連携・調整

区版認知症ケアパスの作成・普及等・・・各区で作成



■ 認知症の方や家族を支援する事業

認知症の方を介護する家族支援事業の運営

認知症カフェの開設・運営支援・・・市内200カ所（H31.4末）

認知症の方とその家族を支える地域資源の把握

認知症サポーターの活動支援

認知症の方（若年性認知症を含む）への相談支援等



・推進員事業計画の作成

各区の認知症ケアパスを基に実情・課題に応じた計画の作成。

・情報整理シート

推進員がまちづくりを進めていくためには、自分の圏域の地域状況を知ることが必要。毎年更新する過程で、各区の取り組みがまちづくりにどのようにつながっているかを把握。

[illegible]

■ 月報

毎月の推進員の活動を報告。
推進員の活動の見える化につなげていく。

毎年、推進員に作成を依頼
・・・推進員活動基盤となる

認知症地域支援推進員 活動状況 月次報告		平成30年度	月分
			いまいき支援センター
1 関係機関との連絡調整・相談			
(1) 認知症疾患医療センター			
(2) (1)以外の医療機関			
(3) 介護関連事業所			
(4) 地域住民			
(5) その他関係機関			
計			☐
〔関係機関との連絡調整・相談の具体的な内容〕			
2 認知症カフェの開設・運営支援			
開設・運営に関する相談対応			
認知症カフェへの参加			
その他の開設・運営支援			
計			☐
〔その他の開設・運営支援〕の具体的な内容〕			

認知症地域支援推進の活動支援 と実践事例



各区の認知症地域支援推進員の活動の後方支援

実は・・・H28～29年度 区のいきいき支援センターで認知症地域支援推進員として活動。その時に感じたこと・・・

地域の事業所や医療機関、住民の人たちに推進員を知ってもらう必要があるけど・・・

推進員の仕事を職場の仲間にもっと知ってもらって、一緒に活動していけたら・・・

センター内で推進員は一人。他の推進員はどんな風に仕事しているのかな・・・

認知症相談支援センターに相談したら一緒に協力してもらえて心強かった・・・



各区の推進員の声を聞き、推進員が元気に活動できるように支援をしたい！

推進員の連絡会・研修会の開催（H30年度）



月	回	内容	テーマ
4	第1回	連絡会	①推進員等の顔合わせ ②H29年度実践報告(緑区・西区の取り組みから) ③今年度の取り組みに関する意見交換
7	第1回	研修会	「認知症地域支援推進員の役割や活動の進め方～ 認知症地域支援推進員は面白い！ 」 講師 恵那市認知症地域支援推進員 足立 哲也氏等
7	第2回	連絡会	認知症サポーター養成講座名古屋市版テキスト改訂のポイントについて
10	第3回	連絡会	「認知症ケアパスについて～各区のケアパスの活用について考える」 講師 認知症介護研究・研修センター 山口 喜樹氏 推進員と各区役所地域包括担当主査と合同研修
11	第2回	研修会	認知症ライフサポート研修～認知症の人の初期支援の重要性を学ぶ 講師 国立長寿医療研究センター 進藤 由美氏 初期集中支援チームと合同研修
12	第4回	連絡会	①北区実践発表「認知症サポーターフォローアップ・キャリアビジョン～サポーターとともに」 ②来年度の取り組み方針……“認知症の人や家族が安心してらせるまちってどんなまち？”
2	第5回	連絡会	今年度の取り組みの成果をみんなで語ろう！

→**推進員一人ひとりのつぶやきから内容を企画**

第1回研修会



- ・今年度、初めて推進員になったけど、やることがたくさんあって何をしたらいいかわからない。
- ・包括の仕事と兼務で大変！
- ・地域の人たちとどうやってつながればいいのか。

目的

推進員には対話力が必要。
推進員がそれぞれの活動を共有し振り返る機会を持つ。
研修を通して、推進員一人一人が元気になる。

恵那市認知症地域支援推進員 足立氏・矢作Hp栗田氏・ケアプランSORA伊藤氏を講師に「認知症地域支援推進員の役割や活動の進め方～認知症地域支援推進員は面白い！」をテーマに研修を開催。

☆足立氏

「認知症になっても安心して暮らせるまちってだれが作るの？」という問いかけから、仲間を作る、仲間とたくさん話してアイデアを出し、一緒に形にしていって、それを大切にしている。

皆で作っていくと楽しい、認知症の人や家族、自分たちも笑顔になる。それは嬉しくて楽しい事。

☆「フィッシュボール」

足立氏の話聞いて感じたこと、思ったことを全員で共有し、推進員に求められていること、感じていることを話したい！と思う人が、輪の中に入り自由に話をした。

- ・自分の思いを伝えれば共感・協力してくれる人がいるかもしれない。
- ・フィッシュボールは、自分も参加している感じがして楽しかった。仕事を「楽しんでやる！」という目標ができました。
- ・「この人のために」何かが行える大切さ。そのためにいろいろな人とつながりたい。



第3回連絡会



目的

- ・区でケアパス作ったけど、なかなか活用につながっていない。ケアパスをどう説明したらいいかわからない。
- ・東京センターの研修に出たけど、区役所の担当者と共有したい内容だった。
- ・ケアパスの改訂をしたいけど、どこにポイントをおけばいいか知りたい。

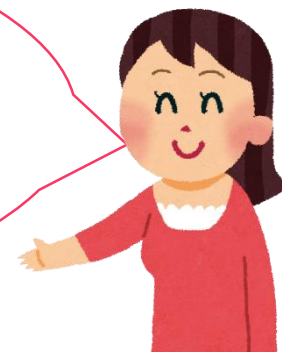
区版ケアパスが4年目。作成時から担当者がかわっているため、あらためてケアパスを学ぶ機会が必要。
推進員だけが学ぶのではなく、ケアパス改訂の中心の各区役所担当者と合同研修にして、情報を共有する。

認知症介護研究・研修センター 山口 喜樹氏を講師に「認知症ケアパスについて」研修を開催。

☆認知症ケアパスの目的・効果・評価・目標について学び、認知症ケアパスの改訂作業そのものが認知症の人・家族にやさしいのまちづくりの基本であることを推進員・区役所担当者と共有した。

☆グループワークではAさんの事例を基に認知症の進行とともに、地域でどのように支援していくことができるのか、各区のケアパスを整理し、実際に他区の参加者の説明をした。

- ・誰のためのケアパスか？が明確でないため認知症の人への困りごとに対する情報が薄いことに気がついた。本人の思いを起点に道筋を作る。仕組みこそが本当のケアパスであることを学んだ。
- ・安心して暮らせる〇〇区であることを伝えられるケアパスにしたい。
- ・ケアパスを学ぶ機会がなかった。改訂作業の大切さがわかり、区で認知症についてきちんと話合うことができる場を持ちたい。
- ・ケアパスは本人の思いを叶えるツールであることを再確認した。
- ・「わたしのこと」がつながっていく仕組みを作りたい。
- ・必要な人に届けること、多くの人に活用してもらうことが課題。



第2回研修会



- ・初期集中支援チームと連携って？
- ・チーム員会議に出た方がいいのかな？
- ・初期集中の初期って？関わるケースは、困難ケースで入院や施設に入所するケースが多い気がする。

目的

認知症の人や家族が安心して暮らし続けるために何が必要か。
初期集中支援チームと推進員が合同研修をすることで、それぞれの役割と連携の必要性を再確認する。

国立長寿医療センター 進藤 由美氏を講師に「認知症ライフサポート研修」を開催。

☆市役所職員より「認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員の役割について」説明

☆進藤氏より「認知症ライフサポート研修」の目標の講義後、DVDを視聴しながら、事例検討をグループワーク形式で実施した。

- ・本人の思いを実現するため本人を中心に連携していく必要を感じた。
- ・初期集中と推進員が互いに連携する大切さを感じ、人もインフォーマルも含めた地域の社会資源の必要性を確認していきたい。
- ・備え型支援の重要性が再認識できた。初期だからこそできる支援、本人の意志にもっと耳を傾け、本人の生活歴をしっかりとアセスメントし、支援者で共有していくことができるようなしくみを作っていきたい。



推進員たちの実践事例

・ 認知症ケアパスの改訂

各区で認知症の本人・家族の意見を取り入れたケアパスの改訂作業が進んでいる。



H30年度改訂熱田区版ケアパス

・ 認知症サポーターの活動支援

認知症サポーターが、より認知症について学び、理解を深め、自分の生活の場や地域でそれぞれの役割を継続するためのフォローアップが進んでいる。

「サポーターが集まる場づくり 認知症サポーターカフェ」



・ 認知症カフェの開設・運営支援

名古屋市内に200カ所（H31.4月末）
認知症カフェが本来の目的のカフェとして
運営できるよう各区で認知症カフェ運営者
交流会の開催やカフェマップの作成が進ん
でいる。



推進員たちの実践事例

・地域課題解決のための取り組み

認知症の本人・家族の声、視点を重視し、各区の実情に合わせた事業を展開が始まっている。

中川区では、若年性認知症の人が「身近な場所で集える場が欲しい」という声から若年性認知症サロンを定期開催している。

・西区では、若年性認知症のご本人が本人による本人のための相談会「おれんじドア も～やっこなごや」を開催。

また、区内の認知症施策の中核である認知症専門部会委員に就任。当事者キャラバンメイトとしての活動を推進員と認知症相談支援センターで支援している。



2019年度名古屋市中川区認知症専門部会事業

おれんじドア も～やっこなごや

～ご本人のためのもの忘れ相談窓口～

日	月	日	時間	場所								
4月	20日	5月	18日	6月	15日	7月	20日	8月	24日	9月	21日	
10月	19日	11月	16日	12月	21日	2020年	1月	15日	2月	15日	3月	14日

※時間は午前10時～12時、月曜日は祝日に調整します。お断りの場合はご連絡ください。

※場所 名古屋市中川区役所4階多目的室 (名古屋市中川区の東2丁目1番1号)

※対象 認知症の方、そのご家族

※参加費 無料

※おれんじドアとは、当事者専門士の「おれんじ」を大切にしています。

【お問い合わせ先】

認知症専門部会事務局
TEL: 052-224-1000
FAX: 052-224-1001
Eメール: nakagawa@city.nagoya.jp

認知症専門部会委員事務局
TEL: 052-224-1000
FAX: 052-224-1001
Eメール: nakagawa@city.nagoya.jp

【主催】名古屋市中川区認知症専門部会 認知症専門部会
【共催】名古屋市中川区認知症専門部会 おれんじドアも～やっこなごや実行委員会

推進員たちの取り組み

・地域のネットワーク体制の構築

地域に住む多様な人たちが立場・職種・価値観の違いを超えて“認知症の人・家族にやさしいまちづくり”を共に考え、協働していく。

中区では包括・役所・キャラバン・メイト・商店街の皆さんと「認知症にやさしいまち大須」プロジェクトを始動。認知症になっても楽しんで買い物・食事ができる商店街を目指している。



各圏域で推進員が地道に活動を進めています。

・名刺に添えて活用できるよう推進員のパンフレットを作成。

・推進員活動事例集の作成・発行・・・各区の取り組みを記載

新年度準備委員 横田

中野区では、若い世代への裾野拡大の意図のもとにも入っています。

中野区青少年センター
中野区青少年センター
中野区青少年センター

取り組もうとしたきっかけ

国連の「若者の持続可能な社会」とは、若者が受けつづけるべき社会です。その中で、若者が社会に貢献する役割が期待されています。国連の「若者の持続可能な社会」とは、若者が社会に貢献する役割が期待されています。国連の「若者の持続可能な社会」とは、若者が社会に貢献する役割が期待されています。

狙ったこと

①若者主体性、②若者主体性、③若者主体性、④若者主体性、⑤若者主体性、⑥若者主体性、⑦若者主体性、⑧若者主体性、⑨若者主体性、⑩若者主体性、⑪若者主体性、⑫若者主体性、⑬若者主体性、⑭若者主体性、⑮若者主体性、⑯若者主体性、⑰若者主体性、⑱若者主体性、⑲若者主体性、⑳若者主体性、㉑若者主体性、㉒若者主体性、㉓若者主体性、㉔若者主体性、㉕若者主体性、㉖若者主体性、㉗若者主体性、㉘若者主体性、㉙若者主体性、㉚若者主体性、㉛若者主体性、㉜若者主体性、㉝若者主体性、㉞若者主体性、㉟若者主体性、㊱若者主体性、㊲若者主体性、㊳若者主体性、㊴若者主体性、㊵若者主体性、㊶若者主体性、㊷若者主体性、㊸若者主体性、㊹若者主体性、㊺若者主体性、㊻若者主体性、㊼若者主体性、㊽若者主体性、㊾若者主体性、㊿若者主体性、

↓

取り組み内容

中野区では、若い世代に対して「中野区青少年センター」を運営しようという、社会福祉協議会が中心となって、若者が社会に貢献する役割が期待されています。中野区では、若い世代に対して「中野区青少年センター」を運営しようという、社会福祉協議会が中心となって、若者が社会に貢献する役割が期待されています。

狙ったこと

①若者主体性、②若者主体性、③若者主体性、④若者主体性、⑤若者主体性、⑥若者主体性、⑦若者主体性、⑧若者主体性、⑨若者主体性、⑩若者主体性、⑪若者主体性、⑫若者主体性、⑬若者主体性、⑭若者主体性、⑮若者主体性、⑯若者主体性、⑰若者主体性、⑱若者主体性、⑲若者主体性、⑳若者主体性、㉑若者主体性、㉒若者主体性、㉓若者主体性、㉔若者主体性、㉕若者主体性、㉖若者主体性、㉗若者主体性、㉘若者主体性、㉙若者主体性、㉚若者主体性、㉛若者主体性、㉜若者主体性、㉝若者主体性、㉞若者主体性、㉟若者主体性、㊱若者主体性、㊲若者主体性、㊳若者主体性、㊴若者主体性、㊵若者主体性、㊶若者主体性、㊷若者主体性、㊸若者主体性、㊹若者主体性、㊺若者主体性、㊻若者主体性、㊼若者主体性、㊽若者主体性、㊾若者主体性、㊿若者主体性、

取り組み内容

中野区では、若い世代に対して「中野区青少年センター」を運営しようという、社会福祉協議会が中心となって、若者が社会に貢献する役割が期待されています。中野区では、若い世代に対して「中野区青少年センター」を運営しようという、社会福祉協議会が中心となって、若者が社会に貢献する役割が期待されています。

狙ったこと

①若者主体性、②若者主体性、③若者主体性、④若者主体性、⑤若者主体性、⑥若者主体性、⑦若者主体性、⑧若者主体性、⑨若者主体性、⑩若者主体性、⑪若者主体性、⑫若者主体性、⑬若者主体性、⑭若者主体性、⑮若者主体性、⑯若者主体性、⑰若者主体性、⑱若者主体性、⑲若者主体性、⑳若者主体性、㉑若者主体性、㉒若者主体性、㉓若者主体性、㉔若者主体性、㉕若者主体性、㉖若者主体性、㉗若者主体性、㉘若者主体性、㉙若者主体性、㉚若者主体性、㉛若者主体性、㉜若者主体性、㉝若者主体性、㉞若者主体性、㉟若者主体性、㊱若者主体性、㊲若者主体性、㊳若者主体性、㊴若者主体性、㊵若者主体性、㊶若者主体性、㊷若者主体性、㊸若者主体性、㊹若者主体性、㊺若者主体性、㊻若者主体性、㊼若者主体性、㊽若者主体性、㊾若者主体性、㊿若者主体性、

[illegible]

今後の課題と展望



今後の課題

名古屋市に認知症地域支援推進員が配置されて5年目。
初年度から「区版ケアパスの作成」「中学校区に1つ認知症カフェの設置」
「サポーターのフォローアップ」etc.一生懸命活動してきました！
名古屋市内には認知症カフェが200カ所
認知症サポーターは129,591人(H31.3末)
毎年、各区でたくさんの事業に取り組んでいます。



その取り組みが・・・

「認知症の人やその家族が安心して暮らせるまち・なごや」を目指して

目標① 認知症の人や家族にやさしいまちづくり

目標② 認知症の早期診断・早期対応の支援体制づくり

どのような効果があり、どのようにまちづくりにつながっているのか・・・

今後は、一つ一つの活動が“**有機的に機能していくこと**”を意識し取り組んでいく必要があるのではないか・・・

さらに、毎年、推進員の入れ替わりが多いため、推進員の活動を**組織として積み重ねていく必要**があるのではないか。



推進員の活動の見える化と評価指標 ～まちづくりへの効果

・認知症地域支援推進員事業計画書の形式の見直し

事業から作成する事業計画書から、**認知症の本人・家族の声**をもとに事業計画を作成する計画書に変更。

包括職員、区役所担当職員などと今までに取り組みや個別ケースを通して地域の課題を共有しながら作成してもらうよう依頼した。

さらに、ひとつひとつの事業の評価項目に**地域の変化・効果**を追加。

推進員だけでなく、多職種・認知症専門部会などの視点で地域の変化・効果を確認することで主観的な評価から客観的な評価に変換し、次年度のPDCAサイクルにつなげていくことを意識することを期待している。

[illegible]

推進員の活動の見える化と評価指標 ～まちづくりへの効果

・月報の形式の見直し

推進員の毎月の活動を数字で報告する**量的評価**に加え、一つ一つの活動の過程で推進員が考えたこと、大事にしたこと、嬉しかったことを記載できるようにした。

さらに、認知症の本人・家族・地域の人等々のグッドストーリーをそのまま記載する欄を設けた。

→その記載を積み重ねていくことで、推進員活動の**見える化**、**質的評価**につなげていくことを期待

推進員一人一人が、月報を積み重ねることで
・認知症の本人・家族を認知症カフェにつないだ。

・連携し、協力してもらえる機関が増えた。
など、推進員自身の活動がどう広がり、深まったかが確認する。

→推進員自身の評価指標につなげていく

認知症支援推進員 活動状況 月次報告 平成31年度 月分

1 地域支援

認知症の人や家族への支援支援	人数	回数
認知症の人や家族への支援支援		
認知症の人や家族への支援支援		

【地域支援における推進員の関わりについて、具体的な内容】

2 推進員(認知症)の会、会派、研究会等

認知症の人や家族への支援支援	人数	回数
認知症の人や家族への支援支援		
認知症の人や家族への支援支援		

【推進員(認知症)の会、会派、研究会等に関する活動について、具体的な内容】

3 連携や支援(認知症)の会、会派、研究会等

認知症の人や家族への支援支援	人数	回数
認知症の人や家族への支援支援		
認知症の人や家族への支援支援		

【連携や支援(認知症)の会、会派、研究会等に関する活動について、具体的な内容】

4 認知症カフェの支援

認知症の人や家族への支援支援	人数	回数
認知症の人や家族への支援支援		
認知症の人や家族への支援支援		

【認知症カフェの支援に関する具体的な内容】

5 認知症サポーターの活動支援

認知症の人や家族への支援支援	人数	回数
認知症の人や家族への支援支援		
認知症の人や家族への支援支援		

【認知症サポーターの活動支援に関する具体的な内容】

6 認知症サポーターの活動支援

認知症の人や家族への支援支援	人数	回数
認知症の人や家族への支援支援		
認知症の人や家族への支援支援		

【認知症サポーターの活動支援に関する具体的な内容】

7 認知症サポーターの活動支援

認知症の人や家族への支援支援	人数	回数
認知症の人や家族への支援支援		
認知症の人や家族への支援支援		

【認知症サポーターの活動支援に関する具体的な内容】

推進員の活動を個の活動から
組織の活動として積み上げていくツールとなることを期待！

さいごに・・・全国の推進員のみなさんへ

推進員活動が続けるうえで大切だと思うこと

- ・一人で悩まずに、一緒に悩む仲間を見つけること
- ・自分のやってきたこと・成果を見える化し、発信すること
- ・認知症当事者と一緒に取り組むこと

これからも、推進員一人一人が
笑顔で元気に活動できるよう
一人一人の声に耳を傾けながら
一緒に活動していきます。



認知症地域支援推進員は面白い！

ご清聴ありがとうございました

Facebookやってます！
ぜひご覧ください。

